

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回地域福祉推進協議会
開催日時	令和2年9月2日（水） 13:30～
開催場所	開成町民センター 中会議室A
委員長等氏名	遠藤伸一委員長 喜多祐荘副委員長
出席者氏名	喜多祐荘（学識経験者） 小野清士（民生委員児童委員協議会） 遠藤伸一（開成町身体障害者福祉協会） 明石功香（心身障がい児者と家族の会かるがも） 小川周作（老人クラブ連合会） 河野愛子（開成町保護司・更生保護女性会） 村岡謙治（開成町教育委員会） 坪井千秋（ぱたぱたママ） 高田幸男（自治会長連絡協議会）
欠席者氏名	西田 統（小田原保健福祉事務所足柄上センター）
事務局	渡辺雅彦（福祉介護課長） 頼住順子（福祉介護課主幹） 萩原将司（福祉介護課主任主事） 高橋政幸（社会福祉協議会事務局長） 土井高史（社会福祉協議会主幹）
議 題	（1）地域福祉推進協議会について （2）福祉コミュニティプラン及び計画体系案について （3）現行計画評価について （4）年間スケジュールについて （5）その他

(会議の経過)

発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局	コロナウィルス感染拡大で大変な中お集まりいただきありがとうございます。福祉介護課長の渡辺です。これより令和2年度第1回開成町地域福祉推進協議会を始めます。令和2年度は開成町の福祉の根幹となる「開成町福祉コミュニティプラン」の改定の年となっております。新型コロナウイルス等により、例年とは違った計画策定方法となると思いますが、委員の皆様のお力をお借りしてより良い計画が策定できるよう準備してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。それでは次第に従い進行してまいります。まず、府川町長からあいさつをお願いいたします。
府川町長	1 あいさつ ～府川町長よりあいさつ～
事務局	2 委嘱状交付 委嘱状交付については、新型コロナウイルス感染予防のため、学識経験者の喜多祐荘委員に代表してお渡しいたします。他の委員の皆様は机上配布とさせていただきますと思います。
府川町長	～委嘱状交付～  ～府川町長退席～
事務局	3 会長・副会長選出 会長・副会長の選出については、資料1「開成町地域福祉推進協議会設置要綱」の第5条により委員の互選によって定めることとなっておりますが、ご意見等はございますか。事務局案としては、開成町身体障害者福祉協会会長の遠藤伸一委員に会長をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。  ～一同拍手～  ～遠藤会長席移動～
事務局	副会長の選出は会長に一任したいと思いますがいかがでしょうか。  (異議なし)
会長	次期計画の策定ということは責任重大であります但願っていきたいと思いません。 副会長は、学識経験者である喜多委員に承諾を得ておりますのでお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(会議の経過)

	<p>～一同拍手～</p> <p>～喜多副会長席移動～</p>
事務局	<p>「開成町地域福祉推進協議会設置要綱」の第6条により、今後の進行は会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>4 議題</p> <p>それでは、次第に沿って進めていきますが、コロナ感染予防ということでマスクをしたまま発言していただきたいと思います。また、できる限り短時間で進行していただきたいと思いますのでご協力をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) 地域福祉推進協議会について (資料確認) (「開成町地域福祉推進協議会設置要綱」について説明)・・・資料1</p>
会長	<p>議題(1)について、ご質問はございませんか。</p>
事務局	<p>(2) 福祉コミュニティプラン及び計画体系案について (福祉コミュニティプラン及び計画体系案について説明)・・・資料2-1、2-2</p>
A委員	<p>資料2-1の17ページの「(10) 性別・年代別自殺死亡率」で死亡率が男女ともに60代が一番高くなっていますがなぜですか。</p>
事務局	<p>追加資料「開成町の現状」の4ページに開成町の自殺実態のプロファイルを示していますが、60歳以上の自殺率が高いのは、身体疾患・失業・離別等から精神的なうつ状態となり、将来への悲観から自殺へと進む傾向によると思われます。個人が特定されないように2014～2018年の過去5年間に開成町の自殺者は13人であるという統計の形で表されていますが、他市町村と比較した場合、20代の男性と60代以降の男女の自殺率が高いことから、こういった方へのアプローチの検討が必要ではないかと示されています。</p>
A委員	<p>資料2-1の19ページの「(13) 刑法犯検挙者中の再犯者数及び再犯者率」で、松田警察署管内では62.1%と非常に高いですが、再犯の内容はどのようなものですか。</p>
事務局	<p>再犯の内容は確認していませんが、開成町の刑法上の犯罪件数として最も多いのは窃盗です。令和元年63件の刑法犯のうち38件が窃盗で、その他に非侵入と言われる万引き・器物破損等が多く、逆に暴行・傷害等の粗暴犯は非常に少ないです。こ</p>

(会議の経過)

会長	<p>のような犯罪が、63件中の何件かは再犯として起こっていると思われます。</p> <p>資料2-1の20ページの「(14) 刑法犯の犯行時年齢別検挙人員の割合」に65歳以上の比率が高くなっているとありますが、高齢化社会にあっては65歳以上の人口が多いため、件数だけでは比べられないのではないのでしょうか。人口比で見た場合にはやはり20代が高いのではないかと思います。最近と同じように高齢者の交通事故が多いと言われており、認知症による原因も考えられますが、単純に高齢者の件数が多いために高齢者に対して対策するという考えには異論があります。</p> <p>資料2-1の8ページの「(2) 地域福祉計画とその他計画との一体的策定について」に地域福祉計画は「自殺対策計画」・「成年後見制度利用促進計画」・「地方再犯防止計画」を含めて策定すると記載されています。資料2-2で第4章に包含していくとありますが、第4章の中で各計画を節ごとに分けて記載していくのですか。</p>
事務局	<p>現時点では、各計画を節ごとに位置付けるのは非常に難しいと考えております。ただ、「自殺対策計画」については開成町の健康づくりや相談業務と組み合わせる時に基本目標の体系に合わせて施策や節を検討していくため分ける可能性があります。しかし、「成年後見制度利用促進計画」や「地方再犯防止計画」は「権利が守られる地域づくり」等に含めていくと考えています。体系については次回の協議会で明確に提示したいと思えます。</p>
B委員	<p>資料2-2の「計画体系について」に「基本理念及び基本目標は地域福祉計画、地域福祉計画ともに同じとし、」とありますが、「地域福祉計画」が重複しています。</p>
事務局	<p>2つめの「地域福祉計画」は「地域福祉活動計画」の誤りです。</p>
A委員	<p>資料2-2のA3版の計画体系で、次期計画の第3章の項目4にある「SDGs」とは何ですか。</p>
事務局	<p>「SDGs (エス・ディー・ジーズ)」は国連で定められた「持続可能な開発目標」のことで、「地球上の誰一人取り残さない」といった方針の中、2030年の国際目標として貧困・教育・福祉・まちづくり等17の目標が掲げられています。開成町の地域福祉計画においては、SDGsの各目標のどの部分に該当しているのかを第3章の項目4で記載しようと考えています。SDGsの取り組みについては、協議の際に詳しくお示しいたします。</p>
会長	<p>資料2-2の「現行計画の理念の継承」の部分が本日の会議で了承されれば、次期計画の理念が了承されたことになると思われます。「理念」について何かご意見はございませんか。</p>
副会長	<p>新たな課題も次期計画に盛り込んでいくようですが、8050問題・孤独死問題・</p>

(会議の経過)

事務局	<p>認知症の地域ケアの問題等は具体的に取り上げるのでしょうか。</p> <p>今開成町で取り組んでいる生活支援体制整備と言われるまちづくりや8050問題等の非常に困難な問題が多い中でこういった取り組みを進めていくかといった方針は、計画の中で謳っていきたいと考えています。それら抜きでは計画はつくれないため、指針の中になるべく盛り込みたいと思います。今年度改訂される高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画の他、子ども子育て支援事業計画や障がい福祉計画等様々な計画との整合性も取っていきます。</p> <p>現行計画の理念の継承については、社会福祉協議会の地域福祉活動計画策定当初から引き継いできたもので、大事にしていきたいという考え方もあります。現行計画34ページより文を抜粋していますが、「自助」「公助」の使い方には違和感を覚える方もいらっしゃるのではないかと思いますがいかがですか。</p>
会長	<p>よく「共助」という言葉を使いますが、昔から用いてきた平易な言葉で「地域の力を活かすことで、必要な人に支援が届くことが大切です。」と表現していることは、理念として引き継いでいくという点で悪くはないと思います。時代によって使用する用語は変わったりしますが、わかりやすい言葉で表されていていいのではないのでしょうか。</p>
C委員	<p>たとえ言葉が変わっても、基本的な考え方はずっと同じだと思います。基本目標を変更し、次期計画の案を示していますが、第4章の施策の展開で漏れがないか心配です。国の考え方に沿うということですが、言葉を変えることにより、今まであった細かい項目が無くなってしまわないかと危惧しています。</p>
事務局	<p>基本目標はあくまでも事務局案ですので、皆様のご意見を伺った上で修正するかどうかを決定したいと思います。基本目標を現行計画の5項目から4項目に変更した際に漏れがないかは、現行計画にあるすべての事業をコンサルの方とチェックし確認しました。</p>
C委員	<p>この文章だけでは中身はよくわかりませんが、漏れはないということですね。</p>
B委員	<p>次期計画の基本目標1「体制づくり」の「体制」とは何を対象としているのですか。</p>
事務局	<p>この「体制」は、支援体制を示しています。「体制づくり」という言葉で丸めてしまうと、行政体制なのか自治会体制なのかボランティア体制なのかわかりにくいということはお指摘通りですので事務局で検討したいと思います。</p>
B委員	<p>計画案に基づいて細かいものが出てきますので、大筋の所でイメージが湧かなければ全体が見通せなくなると思いますので、検討をお願いします。</p>

(会議の経過)

副会長	国・まち・社会福祉協議会等が掲げる中核的な目標は共生社会をつくることであると思います。共生社会をつくるためには自治体・協議体・自治会・ボランティア団体・民間企業等が一体となって協力体制をとることを考えなければなりません。真ん中に「共生社会の構築」を据え、その周りに「自助」「共助」「公助」「民助(民間企業)」等のシステムを配置する図をまとめてみましたので、事務局で検討していただきたいと思います。
事務局	ありがとうございます。確認させていただきます。
会長	「～づくり」という表現はわかりやすく入りやすいと思います。この下に何をどのようにぶら下げていくかはしっかり検討していただきたいですが、表題としてはこのような言葉で統一していくのがいいのではないのでしょうか。 議題(2)についてはよろしいですか。
事務局	(3) 現行計画評価について (「開成町福祉コミュニティプラン(H28-R02)R元年度事業評価シート」について説明)・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3 4年締めで切った場合の相対的な全体の評価としては、評価AとBを合わせると87%となります。効果のコメントまでには至っていませんが、この4年間での施策及び事業は概ね実施できたと思われま。しかし、これはまちと社会福祉協議会が対応する事業についての評価であり、住民の役割や成果の評価は含まれていません。地域福祉を進めるためには、「自助」「公助」「共助」の三者が絡み合い展開していかなければなりません。「公助」である行政と、「共助」である社会福祉協議会、そして「自助」である住民や自治会の方々の役割も地域福祉計画に入ってきてしかるべきです。この評価シートは実施した事業や施策の評価のみを表し一面的なものであり欠けている部分があります。例えば、住民の意識変容や参加形態の変化といったような指標や評価が入っていません。次期計画では、行政や社会福祉協議会の実施する事業に加え、住民に期待することを打ち出していくことも必要ではないかと思ひます。 先般、AERAという雑誌に、この新型ウィルス禍において移住したい市町村別ランキングが掲載され、開成町は神奈川県でトップ、関東でも同率2位の栄誉をいただきました。マスコミの評価ではありますが、移住したい先ランキングに位置付けられるようなまちとして内実を高めるために、「困った時はお互い様」と助け合う風土や根付いているものをさらに高め、開成町らしい地域福祉を向上させ、住民の主体的な福祉活動の実現に向けたアクションプランをつくっていただけたいと思います。
会長	3月27日に書面開催を行いました。その時の感想も含め質問やご意見を伺いたいと思います。
D委員	資料3の3ページの「20地区担当職員の地域への派遣」が評価Cとなっています。地区においては福祉活動専門員にいろいろと協力していただき助けられていま

(会議の経過)

	<p>すが、評価が低いのはなぜですか。</p>
事務局	<p>社会福祉協議会が一番大切にしなければならない役割は、住民の主体的な福祉活動を応援することです。そのため、全職員が「福祉活動専門員」として各地区を担当し、地域の福祉活動を応援するための情報提供や意見交換の場でのアドバイス等を行ってきました。それが昨年度の時点で十分に果たすことができなかったという自己反省としての評価です。事務局サイドとしての厳しい見方ではありますが、前年度と比較して実施回数が少し減っています。数が多ければいいというわけではありませんが、さらに充実強化させていかなければならないと思います。</p>
C 委員	<p>年間に何回計画していたところ何回実施したからC評価になったという説明が欲しかったのではないのでしょうか。なんとなくC評価になってしまっているのではないかと感じました。</p>
B 委員	<p>同感です。C評価となった理由が書いてありません。記載されている説明では十分に行っているように受け取れます。特にCやD評価の事業については、評価の理由を誰が見てもわかるように明確に記載すべきではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>社会福祉協議会が行う自治会福祉活動の育成支援ということでは、地区の福祉部の会合に出向いたり地域内での研究会の受け入れ先を調整したりしています。年間80回ほどに目標を設定していますが、年度により若干目標値が違ってしますので一概に評価が適切であるとは言えないかもしれません。本評価シートは令和元年度末に資料を作成したため、平成30年度の数値を参考として評価いたしました。平成30年度の事業報告はお手元にはございませんが、目標の8割程度しか実施できず、C評価ということになってしまいました。現計画策定時には評価することを重要視し数値目標を多く設定しましたが、それが逆に整理しにくい結果となってしまいました。次期計画では、理念計画としての章とアクションプランとしての章を分けられるということですので、各々の評価がしやすくなると思います。</p>
会長	<p>社会福祉協議会の毎年の決算報告ではもう少し詳しく記載されていますので、そういうことを評価シートにもわかりやすく書けばいいと思います。項目20の自己評価欄で事業説明をしても意味がありませんので、そこには数値を入れて説明すべきではないのでしょうか。書き方に問題があると思います。他の事業でも疑問を感じる部分が多々ありますが、評価をよりしっかりとわかりやすくしていくという説明がありましたので今後に期待いたします。章立てだけではなく、住民にわかるように評価していかなければ、住民はどのように対応していいのかわかりません。評価の方法が悪いために住民が関わっていけないということも考慮していただきたいと思います。</p>
副会長	<p>A E R Aによる外からの評価が高かったことは、協議会に関わってきた者として</p>

(会議の経過)

事務局	<p>強く感じ、社会福祉協議会の今までの努力に敬意を表したいと思います。またそれは町民自身の評価である意識変容との関りも深く、人ごとであったことを我がこととして捉えるようになるためには、まちや社会福祉協議会及び自治会やボランティア団体等との関りが重要です。そこをどう把握していくかが意識変容の評価をすることになります。町民の参加度・課題の解決度・意識面での満足度・各団体サービスへの協力度・担当者との信頼度・協調度等を意識変容の要素として明確にしなければなりません。このような要素を含んだ調査を行い、数値や言葉で結果を出す必要があると思います。それにより、町民の課題解決のためのサービスと利用がどれだけ一致しているのかという把握が可能になるのではないかと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>心の内面をモニターすることは難しいと考えます。しかし、開成町では自分たちの地域は自分たちの力でよりよくしていこうというコンセンサス、すなわち福祉における住民自治が福祉部を中心として根付いていると思います。満足度や今後の要求等のモニターとしては、資料2-1の2ページに「ふくし座談会意見より抜粋」を記載していますが、現在求められる福祉を把握するための座談会を2年に1度開催しており、合わせて福祉課が実施するアンケート等も活用しながら次期計画に反映させていきたいと考えます。</p>
会長	<p>評価の方法としての提案は参考として検討していただきたいと思います。</p> <p>防災の計画を目にした際、東日本大震災から「自助」の重要性が出てきており計画にも「自助」とは何をするのかということが記載され始めたことがわかりました。以前は、行政計画は行政が行うことのみを記載していましたが、「自助」が大事であるということで計画にも盛り込まれるようになったのです。例えば目の不自由な方が一人暮らしをしていた場合、「公助」がなくてはどうしようもないという考え方もありますが、自身の居場所を伝えるために音を出すことも1つの「自助」であることが記載されています。地域福祉計画においても、「自助」の部分が足りないということでしたが、地域への要望だけではなく自身でもやれることがあるということを計画に盛り込んでいただきたいと思います。それにより、例えば車椅子でもこのようすればいいというヒントが得られます。さらに自身の行動の評価することにより、行政・社会福祉協議会・住民の3方で議論していけば先に進むことができるのではないのでしょうか。現行の地域福祉計画のように抽象的な言葉で評価をしていくことも重要ですが、数値をしっかりと出していくことも大切です。</p>
事務局	<p>議題(3)についてはよろしいですか。</p> <p>(4) 年間スケジュールについて (5) その他 〔新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた開成町の基本方針〕について説明) . . . . . 追加資料(コロナに関する基本方針) 〔福祉コミュニティプラン策定 年間スケジュール〕について説明) . . . 資料4 【地域福祉推進協議会の予定】 第2回(10月下旬)⇒書面会議&lt;新型コロナ感染拡大防止対策のため&gt;</p>



(会議の経過)

	<p>第3回(12月中旬)⇒会議開催&lt;パブリックコメント開催前の計画案成立の重要時点であるため&gt;</p> <p>第4回(2月下旬)⇒状況を見て判断 書面会議になった場合の方法を検討し、近日中にご提示します。</p>
会長	<p>質問はございませんか。このような新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、極力書面会議を導入していくことを了解していただきたいと思います。それでは進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>今回は、本来でしたら日程を決定し会議を開催するところですが、書面会議を行うことといたします。皆様には、書面会議の場合の意見の収集方法についての通知を本会議の公償費の支出の通知とともにお送りしますので、パソコンや手書き等の希望を返信願います。なお、本日いただいた意見は検討し、第2回会議の10月下旬を目途に修正したいと思います。</p>
会長	<p>書面会議においては意見が出やすい形を検討していただきたいと思います。また、資料の送付とともに電話をいただくと、なお前向きに参加できるのではないのでしょうか。</p>
C委員	<p>1回目の会議の際には委員の皆さんを存じ上げないので、自己紹介をやっていただきたかったです。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。よろしければここで自己紹介をしたいと思います。</p> <p>～委員・事務局 自己紹介～</p>
事務局	<p>皆様の顔合わせもでき、次回も意見を伺いながら会議を開催したいところですが、難しい状況ですので書面会議とさせていただきますのでよろしく願いいたします。以上で本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>以上</p>